第4章　地域別まちづくり方針

■地域別まちづくり方針について

【地域別まちづくり方針の考え方】

地域別まちづくり方針は、今後の地域単位のまちづくりの指針となるもので、全体構想で示したまちづくり方針を踏まえるとともに、地域特性や住民意向を反映したよりきめの細かい「まちづくり方針」を示します。また、地域別まちづくり方針の作成にあたっては、各種アンケート調査結果や、「まちづくり住民会議」などの住民意見や提案などを積極的に盛り込み計画に反映しています。

【地域区分】

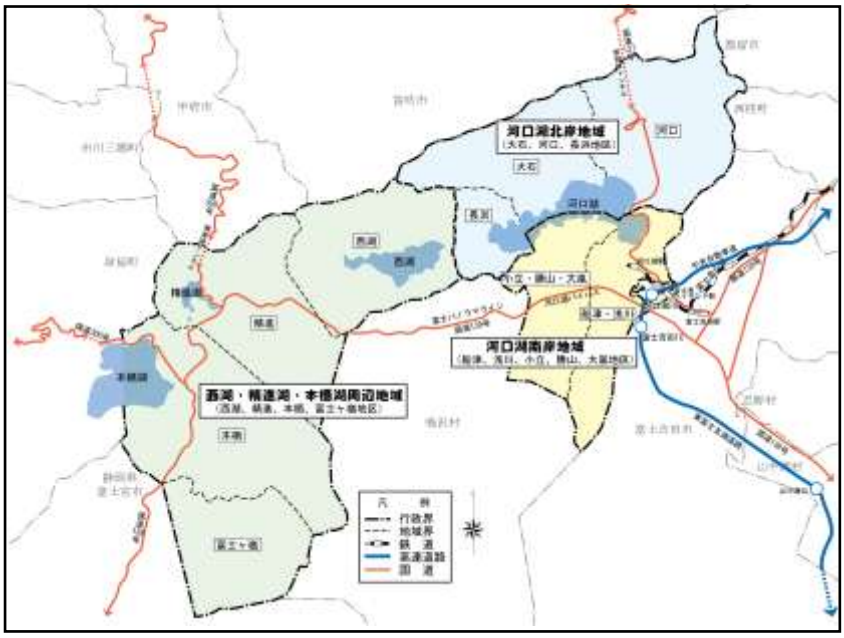
●地域区分については、現在の生活圏域を基本に、町村の合併経緯、地形や地域のまとまりなどを考慮して、右図に示すような３つの地域に区分しています。

■河口湖南岸地域
〇船津・浅川・小立・勝山・大嵐地区

■河口湖北岸地域
〇大石・河口・長浜地区

■西湖・精進湖・本栖湖周辺地域
〇西湖・精進・本栖・富士ヶ嶺地区

■地域区分図



【地域別まちづくり方針の内容】

●地域別まちづくり方針は、次に示すように、地域の特性と課題、将来像と目標、地域まちづくり方針の段階毎に、アンケート調査やまちづくり住民会議など住民意向を踏まえた内容でまとめています。

●地域まちづくり方針の施策内容は、分野別まちづくり方針の中から、地域で取り組むべき主要なまちづくり施策を簡潔に示します。

●「地域の将来像」（将来像、基本理念、まちづくりの目標、まちづくりの基本方針）については、地域住民が抱く地域の将来イメージやまちづくりに対する想いを共有し、本計画が住民にとって身近に親しみがもてるよう、「まちづくり住民会議」の提案を活用しています。

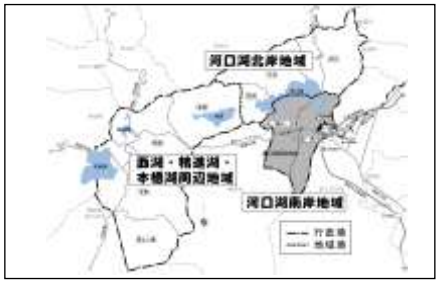
※各地域別方針末尾に、まちづくり住民会議から富士河口湖町へ提案された「地域まちづくり住民プラン」を〈参考〉として提示しています。

■地域まちづくり方針
（１）地域の特性と課題
（２）地域の将来像
　①将来像と基本理念
　②まちづくりの目標
　③まちづくりの基本方針
（３）地域まちづくり方針

1　河口湖南岸地域まちづくり方針

●位　置

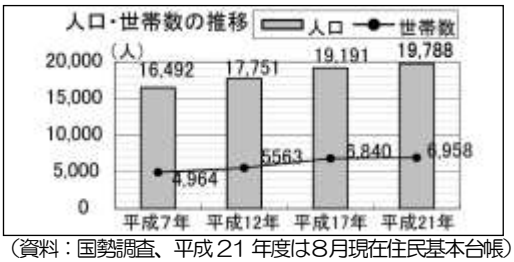
○河口湖南岸地域は、本町の南東に位置し、東側は富士吉田市、西側は鳴沢村に隣接しています。
○河口湖の南側、富士山の裾野に開けた比較的平坦な地形に市街地、農業集落地が構成され、国道や主要幹線道路が地域の骨格となる本町の中心市街地を形成しています。



（1）地域の特性と課題

■地域の特性

○本地域の人口・世帯数は平成 21 年８月現在 19,788 人、6,958 世帯で、人口は本町の約 76%強を占め、人口・世帯数とも微増傾向にあります。高齢者率は平成 20 年度 17.9%と３地域の中で最も低くなっていますが、高齢化が進行しています。
○地域の歴史は古く、699 年に富士山をまつる富士御室浅間神社が建てられ、鎌倉時代からは富士登山口として多くの宿坊ができ、江戸時代の富士講の流行から現在に至るまで多くの来訪者で賑わいをみせるなど、富士山に関わる歴史・文化資源が数多くみられます。
○地域は観光施設や商業施設、行政・文化施設、医療・福祉施設等の集積する本町の中心市街地を形成し、河口湖畔など観光の中心地であるとともに、精密機械・電子機器関連の製造業が立地する産業の中心地でもあります。しかし、近年、中心市街地の空洞化や郊外地域へのスプロール的な市街化の進行が懸念されています。
○富士急行線の河口湖駅があり、東富士五湖道路、中央自動車道河口湖 IC や国道 139 号、137 号が地域の骨格を形成し、広域交通アクセスに恵まれていますが、慢性的な交通渋滞や、集落地内狭あい道路の改善等が望まれています。
○富士河口湖町役場が行政文化拠点、勝山出張所が生活拠点を形成し、道の駅かつやま、歴史民族資料館、河口湖ステラシアター、天上山公園、小海公園、八木崎公園、大池公園、河口湖フィールドセンターなど数多くの文化・観光交流施設が分布しています。
○富士裾野の森林地域、東海道自然歩道等の散策路・登山道、河口湖畔の親水空間等の豊かな自然環境と、富士山や河口湖、対岸の御坂山地などの眺望に恵まれた美しい観光リゾート地を形成しています。



（資料：国勢調査、平成 21 年度は８月現在住民基本台帳）

■主な地域住民意向ーまちづくり住民会議
- ゾーン特性に応じた計画的な土地利用
- 良好な住宅地形成のための土地利用コントロール（開発規制、自然との共生等）
- 中心部空洞化への対応、空き家対策
- 湖畔県有地や休耕地の有効活用
- 中心市街地のみちづくり（都市計画道路、長浜街道の整備、歩いて楽しい道づくり）
- 公共交通の充実、鉄道延伸の再検討
- 観光交流、船津中心街の活性化
- 環境に即した企業誘致と雇用・定住促進
- 国際コンベンション機能の誘致
- 地域南側の森林や美味しい水の保全
- 優れた眺望点のレクリエーション活用
- 自然とふれあう場、ハイキングルート整備
- 自然景観・歴史資源の保全と活用
- 湖畔周辺の景観コントロール（阻害要因等）
- 湖水水質保全、緑化やリサイクルの推進
- 生活道路の改善整備、通学路の安全性確保
- 市街地防災施設整備、街路灯・防犯灯設置
- 医療施設の整備、健康なまちづくり
- 子育て、学校を核にしたまちづくり　など

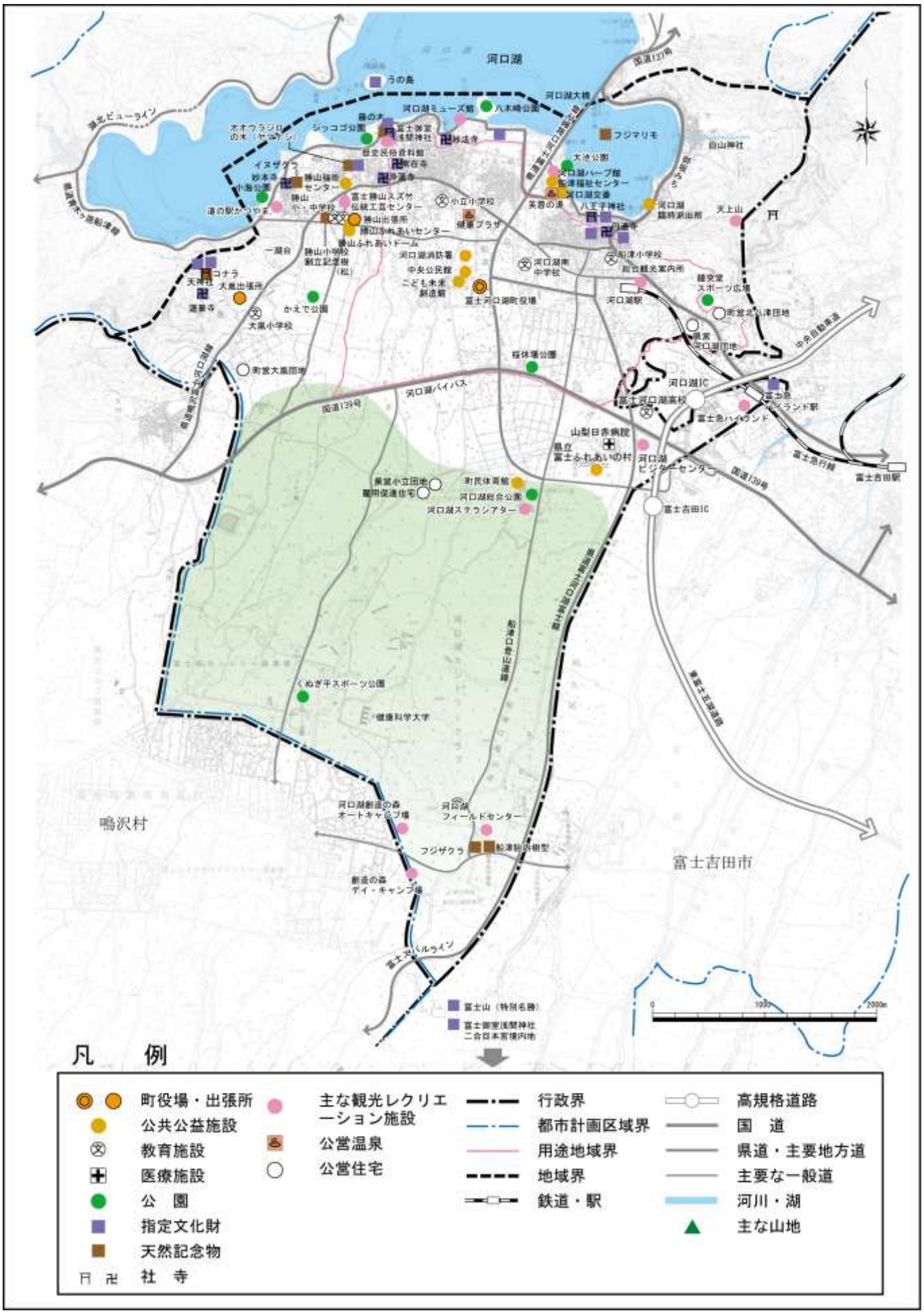
■主要なまちづくりの課題

●伝統産業や中心商店街の再生、観光関連産業をはじめとした環境と共生した産業の育成、地域内回遊性の向上、新しい観光ニーズ・観光スタイルへの対応など、観光リゾート地の魅力と活力を高めるまちづくりが必要です。
●富士山の美しい眺望、湖の水辺環境、歴史文化的な特性を守り、国内屈指の国際観光地である誇りをもったまちづくりを進めることが必要です。
●都市計画道路整備など中心市街地の道路交通網の機能強化と整備促進、歩道整備や交通安全対策など歩行者に配慮した交通環境の改善が必要です。
●中心市街地の空洞化やスプロール的な宅地化の進行、開発進行に伴う景観への対応など、まとまりある計画的な土地利用誘導を図ることが必要です。
●中心市街地の生活基盤整備と定住人口確保に向けた公営住宅等の整備推進、防災性の向上など、安心・利便性の高い生活環境の充実が必要です。
●これまでの子ども達を核とした地域の絆を共有・維持し、新しいものと旧来のものが融合するような地域のふれあいを高めるまちづくりが大切です。

・大池公園

・道の駅かつやま

■河口湖南岸地域の現況特性



（2）河口湖南岸地域の将来像

■将来像と基本理念

将来像

誰もが地域に誇りと愛着を感じ安心・快適に暮らせ、多くの人が訪れる賑わいと活力あるまち

基本理念

自然環境や景観を大切にするまち・子ども達の声が聞こえるまち・新旧共生するまち

地域は本町の観光の中心地であるとともに、世界中から多くの人が訪れる富士五湖観光リゾートの玄関口です。かつては富士登山口として賑わい、自然や眺望、保養などを求めて多くの文化人も来訪しています。今後も、新たに飛躍する活力に満ちたまちとして、また、貴重な自然や景観、文化、伝統産業を大切にするまちとして、未来を担う子ども達が地域に愛着と誇りを持ち、多くの人との交流を育み、富士の恵みを充分に享受する誰もが住みたくなるまちづくりを進めます。

■まちづくりの目標

- ■美しい大自然と共生し世界にはばたくまちづくり
- ■国際コンベンションのまちづくり
- ■誰もが住みたくなるまちづくり
- ■地域の絆を共有し育むまちづくり
- ■子ども達が夢と希望と誇りをもてるまちづくり

■まちづくりの基本方針

1）まちの玄関口の魅力を高め、観光と交流の賑わい・活力あるまちづくりを進めます。

河口湖畔周辺の既存観光リゾート地、船津地区商店街など中心市街地の再生を図るとともに、本町の中心となる観光拠点の形成、富士五湖観光玄関口としての魅力の向上、地場産業の振興と併せた企業誘致の促進等の産業振興など、国際観光都市の顔となる交流と賑わい・活力あるまちづくりを進めます。

2）富士山を背景とした湖畔周辺の景観を守り、豊かな環境にふれあうまちづくりを進めます。

本地域は、富士山麓から河口湖の親水空間に至るまで、まちなかから富士山の眺望を望むことができ、森林の豊かな環境に包まれ、まち全体がひとつの公園都市といった表情をもっています。この富士山と河口湖に培われた歴史文化を地域の財産として守り、多くの人とふれあい、わかちあうまちづくりを進めます。

3）中心市街地の道路交通網の機能強化と安全・利便性の高い交通環境づくりを進めます。

広域交通ネットワークと幹線道路の機能強化、都市計画道路の整備促進、駅など交通結節点機能の強化など中心市街地にふさわしい道路交通網の再編・整備を図るとともに、生活道路の改善や観光リゾート地として回遊性のある安心・快適なみちづくりなど、安全・利便性の高い交通環境づくりを進めます。

4）環境と調和したコンパクトで計画的な土地利用の誘導・形成を図ります。

中心市街地の再生に向け、まちなか居住や定住促進の受け皿となる計画的な市街地整備の促進、宅地化が進む郊外地域や国道 139 号等の幹線道路沿道の適正な土地利用誘導、既存住宅市街地の環境改善など、豊かな環境と調和したコンパクトで計画的な土地利用の推進を図ります。

5）誰もが住みたくなる安心で利便性の高い暮らしの環境づくりを進めます。

集落地や密集した住宅市街地の狭あい道路の改善など、身近な生活基盤の整備・充実に努めるとともに、災害に備えた市街地防災機能の強化、住む人にも来訪者にやさしいバリアフリーのまちづくり、地域ぐるみの子育てと健康なまちづくりなど、安心で利便性の高い誰もが地域に住み続けたくなる暮らしやすい住環境づくりを進めます。

（3）地域まちづくり方針

１）まちの玄関口の魅力を高め、観光と交流の賑わい・活力あるまちづくりを進めます。

①活気ある中心市街地の再生と活性化の推進

■中心市街地の活性化と魅力あるまちづくりの推進

○中心市街地まちなみ環境整備事業、都市再生整備計画の推進（中心市街地や河口湖駅周辺などの景観形成、ポケットパーク、街なか石畳道・旧鎌倉街道の整備、歩道・駐車場の整備、湖畔周遊道路整備など）

○秩序ある市街地の形成（地区計画の策定、統一感あるまちなみ景観誘導、低未利用地の計画的な整備促進）

○活性化に向けた道路交通環境の整備促進（（都）富士河口湖線など骨格道路のまちなみ景観誘導と店舗立地促進、富士登山道線の機能強化とサイン計画など観光機能の充実、都市計画道路の整備促進）

・街なか石畳道

■活気ある中心商店街の再生

○船津地区周辺の中心商店街の再生（観光商店街づくりの促進、既存商店街と共存する新規商業施設など店舗立地促進、回遊性を高める工夫、商店街一店逸品創出支援事業の活用、まちかど・サイン整備など）

○空き店舗・空地の有効活用（空き家バンク、チャレンジショップ事業の展開、テーマ特化型の商店街づくり（農業や観光との連携、エコ、地産地消、コミュニティ商店街など））

・船津三差路前に建つチャレンジショップ

②魅力ある拠点づくりと活性化の推進

○勝山出張所周辺の施設の集約化・生活サービス機能の充実等による魅力ある地域生活拠点の育成

○富士河口湖町役場周辺の行政・文化拠点の機能充実

○小立・勝山地区の副次的タウンセンター機能充実による新たな都市拠点の形成

○観光業務・文化交流拠点の形成と活性化に向けた機能充実

・富士河口湖町役場

③地域特性を活かした交流と観光が結びつく活性化の推進

■河口湖畔観光リゾートエリアの環境整備と魅力づくり

○大池船津浜周辺の湖畔観光市街地は本町の観光の中心地として、また、小立・勝山・大嵐地区は民宿村の再生と閑静な長期滞在型観光による活性化の推進

○回遊性の高い湖畔観光リゾートエリアの形成（快適な歩行空間・自転車ルートの整備、レンタサイクルの活用、足湯広場・休憩スポットの整備、サイン・インフォメーション設備の充実など）

○訪れたくなる新しい観光リゾート地の工夫（健康増進施設型温泉利用、長期滞在・保養型、体験型など）

・河口湖畔の宿泊施設街

・河口湖南岸沿いの道路

■観光レクリエーション拠点や観光資源の機能充実と魅力の向上

○湖水など豊かな自然環境や富士山の眺望、歴史文化を活用した観光まちづくりの推進

○地域にふさわしい国際コンベンション機能の誘致

○主要な観光施設の機能充実と魅力の向上（道の駅かつやま、河口湖ステラシアター、創造の森キャンプ場、歴史民族資料館、富士勝山スズ竹伝統工芸センターなど）

○小曲展望広場など新たな観光交流施設の整備推進

○身近な潜在的資源活用の観光活性化の促進（エコツーリズム、里山や眺望景観、身近な名所・風景など）

・道の駅かつやま

■富士五湖観光玄関口としての観光ルート・観光基盤の整備

○観光交流の骨格となる国道 139 号、137 号の機能強化、（都）船津小海線など主要な観光道路の整備促進とにぎわい交流軸の形成

○一湖台～五湖台など眺望を活かしたハイキングルート整備（展望広場整備）、湖畔周遊ウォーキングトレイル、シニックトレイル・並木道、東海自然歩道の充実など散策路・観光ルートの整備・充実

○観光バス路線や観光基盤の整備・充実（観光案内所、案内標識、駐車場、トイレ、休憩スポットなど）

・奥河口湖

・一湖台（羽根子山）からの眺望

・五湖台（足和田山）からの富士山の眺望

・五湖台山頂の展望台

④地域産業の振興と活性化の推進

■地場産業の振興と既存産業の育成・強化

○勝山スズ竹細工などの伝統産業、ワカサギ等の内水面漁業など観光と連携した地場産業の振興

○既存産業の育成・強化（経営基盤の強化、地域密着型の起業化、異業種交流の促進、学校交流を契機とした産業交流の促進など）

■産業基盤整備と地域特性に即した企業誘致、雇用の促進

○産業基盤の整備（勝山地区工業集積地の機能拡充と企業誘致の促進）

○交通アクセス利便性や大学研究室の立地条件等を活用した良好な環境と共生する企業誘致の促進（IT 関連、先端技術・研究開発施設、バイオマス等の環境関連産業、農産物関連の加工・販売物流施設など）

○IJU ターンの受け皿づくりなど雇用や定住の促進（就労の場の確保、住環境整備など）

・富士勝山スズ竹伝統工芸センター

■農業の振興・活性化の推進

○農業生産基盤の充実と農業の振興・活性化の推進（耕作放棄地の有効活用、都市型農業の確立、特産品開発と販売力の強化、地産地消・食育の推進、道の駅かつやまや農産物直売所の充実、鳥獣害対策の推進など）

○観光農業の育成・強化（グリーンツーリズムなど都市と農山村地域の交流促進、市民農園、観光農園の整備・充実、都市農村交流施設の整備、朝市・夕市等の活用など）

２）富士山を背景とした湖畔周辺の景観を守り、豊かな環境にふれあうまちづくりを進めます。

①豊かな自然環境の保全とふれあいの場づくり

○貴重な森林資源や豊かな水辺環境の保全とふれあいの場づくりの推進（森林や湧水、湖水水質の維持・保全、森林セラピーロード事業、ビオトープ空間の創出、環境教育・体験の場等のレクリエーション活用）

○貴重な動植物の生息環境の維持・保全（天然記念物フジマリモの保護、ワカサギの生息確保など）

○富士の恵みの自然・環境に配慮した環境負荷の軽減、循環型社会など環境にやさしいまちづくりの推進

・ネイチャーガイドツアー

②良好な景観資源の保全と活用

■美しい富士山や湖畔の景観と眺望の保全と活用

○山岳・森林景観や湖・水辺景観、里山景観の保全と活用

○天上山公園、一湖台、東海道自然遊歩道など優れた眺望景観の保全と活用

・天上山公園からの眺望

■地域の個性ある歴史文化資源の保全と活用

○富士講の山岳信仰、富士御室浅間神社などの歴史文化資産や、勝山地区の蔵のまちなみなどの歴史文化的景観の保全とまちづくりへの活用

○歴史民族資料館等の歴史文化施設の機能充実

○潜在的な歴史文化資源の顕在化とまちづくりへの活用（御師集住の歴史、旧船津口登山道の顕在化、社寺、塚・祠・道祖神、富士御室浅間神社例祭、やぶさめ祭り等の伝統行事の保全と継承など）

○旧鎌倉街道などの古道、「歴史の小径」ウォーキングトレイルなど歴史文化のネットワークの形成

・富士御室浅間神社

■富士山と湖畔の景観を守る、景観に配慮したまちづくりの推進

○国道 139 号などの道路や散策路等の緑化推進と沿道景観の改善•向上による景観ネットワーク軸の形成

○湖畔観光市街地など環境と調和した適切な景観コントロールの推進（建築物の高さ・意匠・色彩、良好な眺望域の確保・美しいまちなみ形成に向けた電線類地中化の促進、看板類の適正化など豊かな環境と調和した沿道景観の形成など）

・町で統一デザイン化したサイン

③まちなかの緑・小さな自然を創るまちづくり

○水と緑の拠点整備と機能充実（河口湖総合公園、くぬぎ平スポーツ公園、河口湖フィールドセンター、天上山公園、大池公園、八木崎公園、小海公園、シッコゴ公園等の水と緑の拠点の機能充実、親水公園整備の推進、集落地に不足する公園・広場等の整備推進）

○身近な緑の保全と地域特性に応じた緑化の推進、緑のまちづくりの促進（生垣化、グランド芝生化など）

・河口湖総合公園

３）中心市街地の道路交通網の機能強化と安全・利便性の高い交通環境づくりを進めます。

①広域幹線道路の整備促進と機能強化

○広域都市間の連携強化と大規模災害に対応した甲府富士北麓連絡道路の整備促進
○中心市街地道路交通網の再編・機能強化
○国道 139 号の機能強化（渋滞解消、主要交差点の改良、歩道整備等の改良促進）

・４車線化が図られた国道 139 号

②中心市街地の幹線道路網の機能強化

○（都）河口湖駅前線、船津小海線、町道河口湖駅前通線など河口湖駅周辺の利便性を高める幹線道路網整備と機能強化の推進
○観光道路機能を担い地域間を連絡する県道富士河口湖富士線、鳴沢富士河口湖線の機能強化
○社会情勢や地域の実情に即した都市計画道路網の再編整備、必要に応じ既定計画の見直しを含めた整備促進（（都）富士河口湖線の機能強化、（都）船津小海線の未整備区間のルート変更を含めた整備促進、（都）白木里宮線、河口湖勝山線の整備促進など）
○幹線道路の交通対策を補完する町道等の計画的な改善・整備と機能強化の推進（町道船津登山道線、勝山中央通り線、勝山富士見線（もろこし街道）、長浜街道など）

・（都）河口湖駅前線

・町道河口湖駅前通線

③公共交通の充実

○河口湖駅の交通結節点機能の強化（観光玄関口としての魅力向上と案内システム等の機能充実、（都）河口湖駅前線の整備と併せたまちなみ景観誘導、周辺アクセス道路の整備推進、新たな交通システムの導入検討（パークアンドライドの促進、レンタサイクル整備、サイクルトレインなど）
○鉄道の利便性向上や観光利用の促進
○バス路線網の充実（町内循環バス運行コースやダイヤ編成等の強化、巡回シャトルバスの機能強化、小型バスの導入検討、フリンジパーキングとシャトルバス、郊外バスターミナル整備の検討など）

・河口湖駅前

④安心・快適な交通環境の形成と歩いて楽しいみちづくり

○中心市街地を周遊する歩いて楽しいみちづくり（（都）河口湖駅前線、河口湖通り・本町通り等の商店街、（都）富士河口湖線などの歩行者周遊空間、湖畔周遊散策ルートの整備）
○安全・快適な歩行者のみちづくりの推進（歩道の改善・整備、通学ルートなど歩行者優先道路の整備、自転車道整備と自転車活用のエコ交通システムづくりなど）
○交通安全対策の充実（（都）河口湖駅前線、河口湖駅前通りなどの交通安全対策の強化、長浜街道など危険性の高い交差点の改善、船津・小立地区などの通学路の交通安全対策の充実（スクールゾーン設置、車の走行速度抑制など）、一方通行化など地域実情に即した交通規制の検討、県道富士河口湖富士線富士河口湖高校前の歩道整備の促進など）

・拡幅と歩道整備が進められている国道 137 号（河口湖通り）

４）環境と調和したコンパクトで計画的な土地利用の誘導・形成を図ります。

①コンパクトでまとまりのある中心市街地の形成

○市街地（用途地域）の空地など低未利用地の計画的な宅地化の促進、空き地・空き家の有効活用、地区計画等を活用した誘導型まちづくりの推進などまちなか居住の促進
○本町の顔にふさわしい船津地区中心商業地の形成、既存商店街の店舗・サービス機能の充実
○生活基盤整備の促進とコンパクトで良好な住宅市街地の形成（木造密集地域の狭あい道路の改善、建て替え困難箇所の改善、公園などオープンスペースの確保など）

・河口湖通り商店街

②地域特性に応じた計画的な土地利用の促進

○湖畔周辺観光レクリエーションゾーンの機能充実と魅力ある観光商業地の再生（県有地の有効利用の促進）
○国道 139 号、（都）富士河口湖線、河口湖駅前線、船津小海線等の沿道サービスゾーンの形成と土地利用コントロールの促進（環境への配慮と周辺土地利用と調和した商業業務サービス機能の計画的な立地誘導、身近な生活サービス施設、文化・交流施設、観光施設等の整備促進）
○産業拠点となる大嵐、勝山等の既存工業地の生産環境の維持・向上、新規優良企業の誘致促進
○エコヴィレッジなど環境と共生した緑豊かな林間住宅の住環境整備の促進
○優良農地の計画的な維持・保全と遊休農地・耕作放棄地の有効利用の促進、小立・勝山地区等の空き家対策、無秩序な宅地化の防止と適切な土地利用誘導など集落環境の改善・向上

・河口湖畔の観光商業地

・船津小海線と沿道

③市街化が進む郊外地域の適正な土地利用誘導

○自然環境の保全と白地地域の土地利用コントロールの推進
○市街化のポテンシャルの高い国道 139 号沿道の現行用途地域の見直し、スプロール化・乱開発の防止と計画的な土地利用の誘導
○宅地化の進む勝山・大嵐地区、国道 139 号周辺の南台地区、施設の集積が進む河口湖 IC 周辺の用途地域の編入による計画的な土地利用の誘導
○広域交通の玄関口である河口湖 IC 周辺の交通結節性や既存のレジャー施設、観光交流施設等の集積を活かした観光業務・文化交流ゾーンの形成

・宅地化が進む勝山地区

④良好な住宅地を形成する土地利用の促進

○小立土地区画整理事業の促進、小立・勝山地区まちづくり事業と併せた計画的な宅地化誘導と都市基盤整備の推進（公共施設の集約化など計画的な整備による副次的タウンセンターの形成、地区計画等の策定、防災機能の高い公園整備など）
○自然と共生した住宅地整備と定住促進策の推進（新たな公営住宅等の定住促進住宅の検討、耕作放棄地・空き家の有効活用、子育て世代・団塊世代の移住促進、モデルとなる住環境整備の推進など）

・整備が進められている小立土地区画整理事業地

５）誰もが住みたくなる安心・利便性の高い暮らしの環境づくりを進めます。

①計画的な身近な生活基盤の整備・充実

○狭あい道路の拡幅、道路排水対策など身近な生活道路の改善・整備、交通安全対策の推進
○勝山地区新興住宅地の防災公園等の整備、中心市街地や集落地で不足する身近な公園・広場の整備・充実
○中央公民館、町民体育館、勝山ふれあいセンター等の既存施設の機能充実と、人口増加をみすえた施設の集約化など効率的・計画的な公共公益施設配置の推進
○上水道の整備推進、公共下水道の整備と水洗化の普及促進、合併処理浄化槽の普及促進
○船津南台地区の汚水処理施設整備の推進
○北八津団地等の公営住宅の改善・建替え促進、新たな定住促進住宅の建設
○道路などの地域住民との協働による除雪・凍結対策の促進
○湖や森林、河川へのごみ不法投棄の防止、リサイクルの推進
○時代潮流に対応した地域情報通信基盤の整備促進

②災害に強い安心・安全に暮らせるまちづくりの推進

○河口湖や河川の治水安全対策の推進、がけ崩れなど治山対策の強化
○地震や水害など、災害に強いまちづくりの推進
・富士河口湖町役場や各支所等の防災拠点機能の強化、身近な防災活動拠点の整備、指定避難所の防災機能の充実、公共公益施設の耐震化・不燃化促進など
・防災施設の充実・強化（ライフラインの安全性の確保、耐震性防火水槽・消防水利の整備推進、防災倉庫・備蓄倉庫の充実、情報連絡体制の強化、災害弱者へ対応した緊急通報装置の普及推進など）
・密集住宅地や集落地の防災安全性の向上（狭あい道路の改善、消防活動困難地域の解消、避難ルートの確保、老朽住宅の建替え、建物の不燃化・耐震化の促進など）
・国道 139 号、137 号、県道富士河口湖富士線、青木ヶ原船津線、鳴沢富士河口湖線など緊急輸送道路の機能強化
○地域防災体制の強化（自主防災組織の育成強化、防災意識の普及・啓発、地域防災マップの作成など）

・安全対策工事が行われた小曲岬

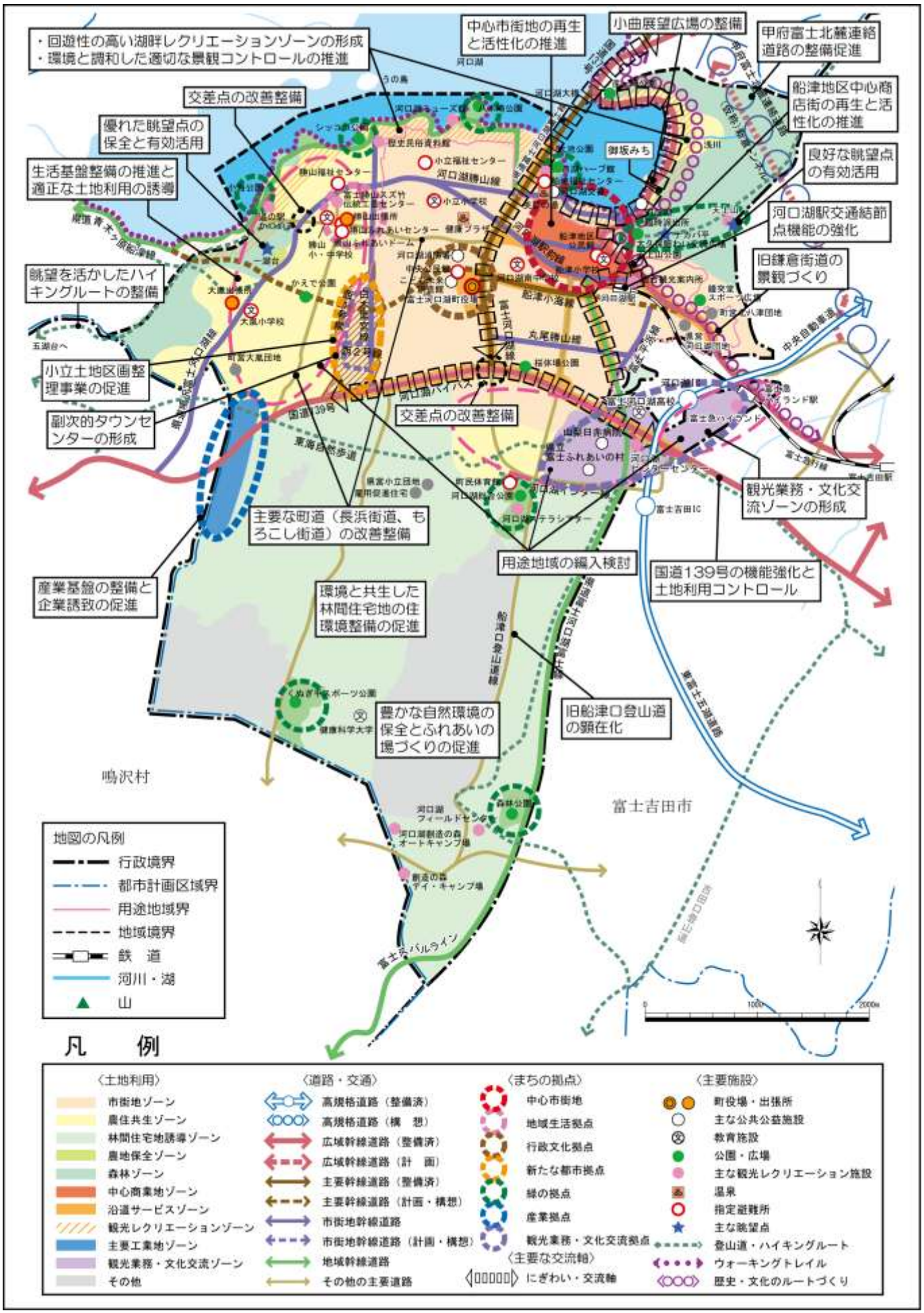
③地域のふれあいを高める人にやさしいまちづくりの推進

■公共交通機関や公共施設のバリアフリーの推進
○河口湖駅周辺や主要な道路・歩行空間のバリアフリー化の促進、バス利便性の向上
○こども未来創造館、福祉センター等の文化行政施設、公園・緑地など公共施設等のバリアフリー化の推進
○河口湖駅周辺、船津地区の商店街、河口湖畔観光市街地周辺など重点的なバリアフリー整備の推進

■誰もが健康な福祉のまちづくりの推進
○高齢者福祉施設、福祉サービスの充実など高齢者・障害者に配慮したまちづくりの推進
○地域で子ども達を守り育てる環境の充実（子育て環境・子育て支援の充実、食文化・食育の充実など）
○学校を核にしたまちづくり（人口の増減など将来を見すえた学校配置、施設の充実と学校跡地の活用など）
○関係医療機関と連携した地域医療の充実
○地域防犯まちづくりの推進（街路灯・防犯灯の設置推進、地域防犯パトロール活動の促進など）
○地域のふれあいを高めるまちづくり（地域全体で子ども達を育てる学校を核としたまちづくり、児童福祉にあついまち、女性進出できるまちなど）

・整備された河口湖駅前

■河口湖南岸地域まちづくり方針図



〈参考〉地域まちづくり住民プランの提案　ーまちづくり住民会議提案よりー

■まちづくりフィッシュボーン

■地域情報・提案マップ

2　河口湖北岸地域まちづくり方針

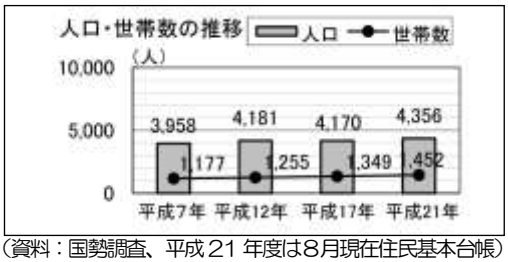
●位　置

○河口湖北岸地域は、本町の北東に位置し、東側は富士吉田市、西桂町、都留市、北側は笛吹市に隣接しています。
○河口湖の北側、北部一帯の御坂山系や西側の足和田山の森林を後背とし、湖畔から山地に至る傾斜地に観光レクリエーション施設や田園・農地が分布し古くからの集落地が点在しています。

（1）地域の特性と課題

■地域の特性

○本地域の人口・世帯数は平成 21 年８月現在 4,356 人、1,452 世帯で、人口は本町の約 17%、人口・世帯数とも微増傾向にあります。高齢者率は平成 20 年度 24.9%と高齢化が進行しています。
○河口地区は、浅間神社を中心とした御師集住のまちとして特に江戸時代末期には隆盛を極めるなど様々な歴史・文化資源を擁しています。長浜地区は、旧足和田村の中心であり奥河口湖とも呼ばれる閑静な地域で、戦前までは大石地区とともに養蚕が盛んでした。特に大石紬は特産品として有名であり、地場産業の振興が望まれています。
○河口地区や大石地区は、湖畔の文化観光施設の立地と果樹や田園等の農業集落地域であり、長浜地区は奥河口湖の自然を生かした民宿等が立地する森林に囲まれた集落地となっており、近年、交通アクセスの向上等により基盤整備に伴う計画的な土地利用や、地域産業・自然環境と共生した地域の活性化が望まれています。
○国道 137 号、（主）河口湖精進線（湖北ビューライン）が地域の骨格を形成し、県道富士河口湖芦川線・若彦トンネル、国道 137 号河口バイパスが整備されるなど広域交通のアクセス利便性の向上が進められていますが、週末等の交通渋滞や地域間アクセス、集落地内生活道路の改善等が望まれています。
○河口出張所、大石出張所、足和田出張所が生活拠点を形成し、河口湖自然生活館、河口湖美術館、大石紬伝統工芸館、河口湖円形ホール、大石公園などの文化観光施設や公共施設が分布しています。
○湖北ビューラインからの富士山と御坂山系の眺望、御師集住のまちや旧鎌倉街道、若彦路等の歴史資源、花畑や果樹、湖畔の水と緑の彩りなど、歴史文化と豊かな自然・暮らしの景観など、河口湖南岸とは異なる穏やかな落ち着きある観光ゾーンを形成しています。



（資料：国勢調査、平成 21 年度は８月現在住民基本台帳）

■主な地域住民意向ーまちづくり住民会議
- 農地の維持・保全、耕作放棄地の対策
- 日本屈指の景観を守る土地利用の推進
- 若彦路開通による土地利用コントロール
- 若彦路、河口湖バイパスの整備促進
- 湖岸道路、ウォーキングトレイルの整備、
- 長浜バイパスの整備検討
- 新しい観光スタイルの工夫（ツーリズム等）
- 既往資源の活用とまちづくりイベント開催
- 第一次産業の活性化への活用
- 新しい雇用の場の創出
- 動植物生息環境に配慮した川づくり
- 山・湖のゴミ対策
- 河口湖と富士山の眺望の保全
- サインや看板類等の沿道景観の整序
- 歴史性を誇るまちづくり、古道の景観整備
- 地域の祭りの継承
- 身近な公園整備、水辺公園の創出
- 上・下水道整備促進
- 診療所の設置
- 土砂災害対策
- 街灯整備、防犯対策の促進
- 地域コミュニティの継承　など

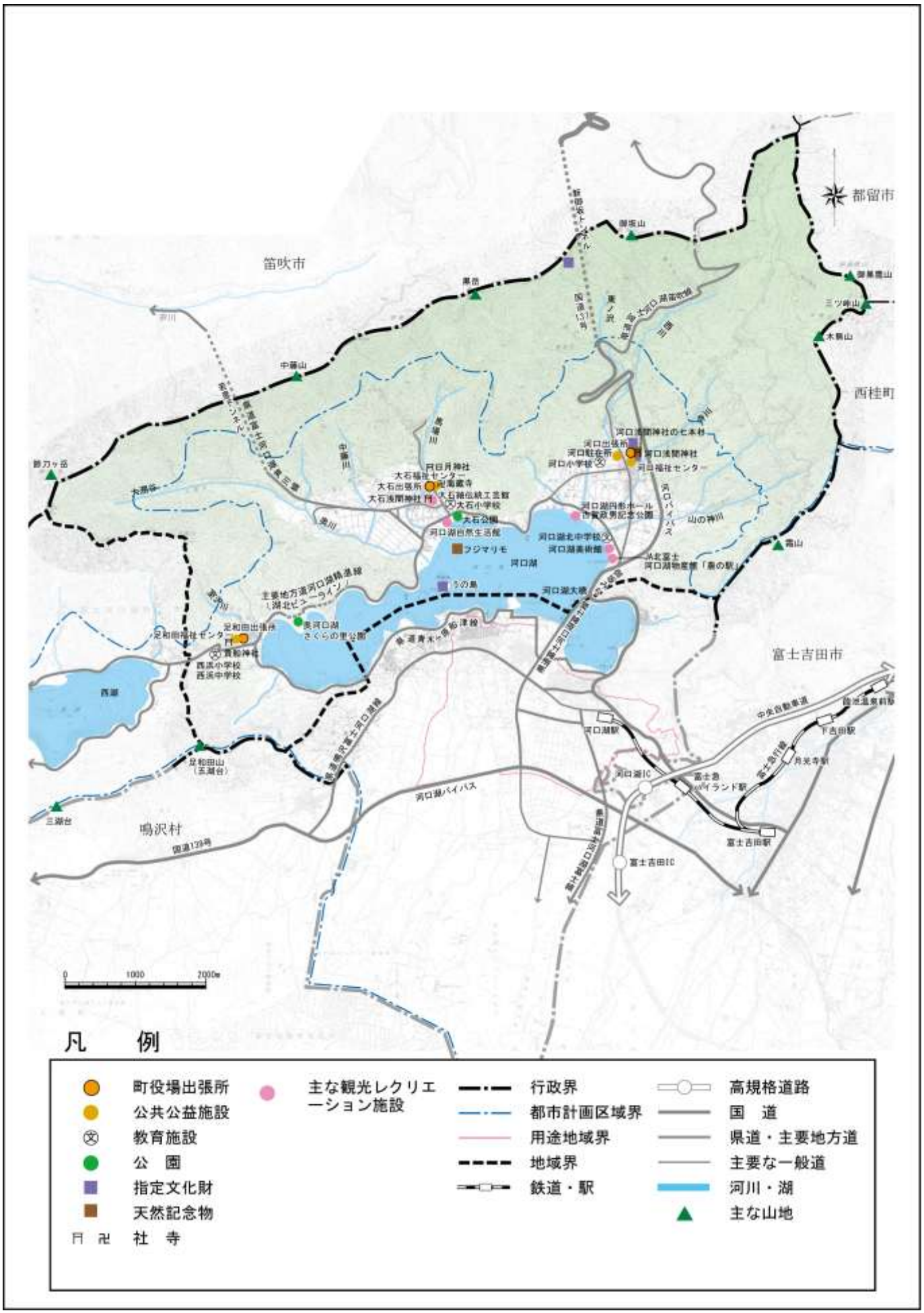
■主要なまちづくりの課題

●富士山と河口湖を一体的に眺望する景観や、御坂山系を後背とした良好な自然環境、歴史文化等の地域資源を再認識し、守り活かすことが必要です。
●湖畔に集積する文化観光施設や閑静で落ち着いた滞在環境、地場産業や多様な観光レクリエーション資源を連携し、観光振興を図ることが必要です。
●広域交通アクセス整備に伴う体系的な道路・交通網の機能強化と、集落内生活道路の改善など、交通利便性と交通環境の向上を図ることが必要です。
●豊かな環境と基幹産業である農業の保全とともに、道路整備等に関わる土地利用コントロールなど、環境と共生した適正な土地利用誘導が必要です。
●既存ストックの活用など身近な住環境の改善や防災性の向上に努め、地域居住を促すような、環境と共生する生活基盤整備を進めることが必要です。
●地域の成り立ち・暮らしぶりや歴史文化が育んだまとまりある地域コミュニティを継承し、人のあたたかさと絆を育むまちづくりが大切です。

・お花畑と富士山

・大石伝統紬工芸館

■河口湖北岸地域の現況特性



（2）河口湖北岸地域の将来像

■将来像と基本理念

将来像

富士山と河口湖の眺望を誇り、
美しい自然環境の中で快適に暮らせるあたたかいまち

基本理念

雄大で美しい景観と自然と空間が最大の資源

御師集住の歴史文化、先人の紡ぎ出した大石紬等の伝統産業、農山村の里山や奥河口湖入江の穏やかな風景。河口湖と御坂山系、足和田山に囲まれ、南岸とは異なる生活文化をもつ地域であり、近年、交通利便性の向上からまちの姿が変容しつつあります。山地の森林を後背とした雄大で美しい景観と自然、大地の構造が培った空間が地域の最大の資源であることを再認識し、常に富士山と河口湖を一望する風景のなかで、恵まれた環境を損なうことなく快適に暮らせるあたたかいまちづくりを進めます。

■まちづくりの目標

- ■河口湖と富士山の景観を大切にするまちづくり
- ■恵まれた自然環境と共生できるまちづくり
- ■地域の歴史文化を育む人づくりとまちづくり
- ■子どもから高齢者までみんなが安心・快適に暮らせるまちづくり

■まちづくりの基本方針

１）富士山と河口湖の眺望景観を守り、歴史文化を誇り育むまちづくりを進めます。

富士山と河口湖を一望する眺望景観、集落地後背の御坂山系の豊かな自然環境、浅間神社を中心とした御師のまちや旧鎌倉街道の歴史文化などの潜在的な地域資源を再認識するとともに、各々を有機的に結びつけ魅力ある景観資源として積極的に活用し、郷土の財産を誇り活かすまちづくりを進めます。

２）地場産業の振興と観光と地域資源が連携した魅力を創出する活性化を推進します。

地域は観光振興や基幹産業を活用した活性化が求められています。そのため、観光と連携した伝統産業や農業の振興・活性化を促進するとともに、歴史文化の活用、豊かな環境を活用したレクリエーション振興、里山農村交流など、魅力ある地域資源を充分活かした新たな魅力を創出する活性化を進めます。

３）広域交流・地域間アクセスを支える幹線道路整備と安全で快適なみちづくりを進めます。

県道富士河口湖芦川線・若彦トンネルの開通、国道137号河口バイパスの開通、（仮称）新倉トンネルの整備など広域交流を担う幹線道路整備を契機として、地域・地区間のアクセスを支える幹線道路網の機能強化と、集落内生活道路の改善・整備など、観光・活性化にも寄与する安全で快適なみちづくりを進めます。

４）景観と環境を守る土地利用を進めます。

湖水環境や御坂山系の自然環境の保全と野菜や果樹等の優良農地の維持・保全、遊休農地や耕作放棄地の有効活用、里山・集落環境の維持向上を図るとともに、道路整備に伴う沿道土地利用の適正なコントロールを推進し、恵まれた景観と環境を守る地域特性にふさわしい土地利用の推進を図ります。

５）美しい景観や環境と共生する安全・安心に暮らせるまちづくりを進めます。

生活道路の改善や身近な公園整備、公共施設や空き家等の有効活用、協働によるごみ不法投棄対策の強化など身近な生活基盤の整備・充実を図り、防災・防犯まちづくりを推進し、子ども達から高齢者までみんなが安全・安心に暮らせる、美しい景観や環境と共生する住環境づくりを進めます。

（3）地域まちづくり方針

１）富士山と河口湖の眺望景観を守り、歴史文化を誇り育むまちづくりを進めます。

①恵まれた自然環境の保全と活用

○御坂山系や里山などの貴重な森林資源の保全と活用（森林セラピーロード事業、環境教育・体験の場の充実、ハイキングコース等の整備推進）
○豊かな水辺環境の維持・保全（湖水の水質保全と自然環境に配慮した多自然型工法の推進、母の白滝や沢・渓谷・湧水の保全、うぐい等の遡上する川づくり、ビオトープ空間の創出などの親水空間づくり）
○貴重な動植物の生息環境の維持・保全（天然記念物フジマリモの保護、ワカサギの生息確保など）
○富士の恵みの自然・環境に配慮した環境負荷の軽減、循環型社会など環境にやさしいまちづくりの推進

②良好な眺望景観と歴史文化の保全と活用

■河口湖と富士山が一体となった景観の保全と活用
○山岳・森林景観や湖・水辺景観、里山農村景観の保全と活用（廃屋や耕作放棄地への対応など）
○三ツ峠、御坂峠、足和田山等の眺望点や富士山と河口湖を一望する優れた眺望景観の保全と魅力づくり

・河口湖と富士山

■歴史を誇り文化を守る景観まちづくりの推進
○富士講の山岳信仰、河口浅間神社、大石浅間神社、日月神社などの歴史文化資産や、御師集住の遺構を活用した御師のまちなみづくりなど歴史文化的景観の保全とまちづくりへの活用
○大石伝統紬工芸館、河口湖自然生活館等の歴史文化施設の機能充実
○潜在的な歴史文化資源の顕在化とまちづくりへの活用（古民家・茅葺き屋根、社寺、塚・祠・道祖神など）
○地域の伝統行事・祭事の保全と継承（太々神楽祭、稚児の舞、秋祭り・夏祭りなど）
○旧鎌倉街道や若彦路など古道の景観整備、河口浅間神社の参道整備、歴史の小径・ルートづくり

・河口浅間神社例祭　稚児の舞

■美しい景観と共生する景観に配慮したまちづくりの推進
○国道 137 号や湖北ビューラインなどの沿道景観の改善・向上による景観ネットワーク軸の形成
○湖畔観光施設集積地などの適切な景観コントロールの推進（電線類地中化、看板類の適正化、ガードレールや標識等の交通設備の色彩・形態の統一、ブルーシートの色彩配慮等の景観阻害要因の改善など）

・湖畔観光施設集積地

③花と緑の彩りあるまちづくり

○水と緑の拠点整備と機能充実（大石公園等の拠点、梨川もみじ公園、奥河口湖さくらの里公園整備の推進、親水公園整備の推進、足和田地区等の集落地に不足する公園・広場等の整備推進）
○身近な緑の保全と道路や散策路など地域特性に応じた緑化の推進、緑のまちづくりの促進

・大石公園

・梨川もみじ回廊

・奥河口湖さくらの里公園

２）地場産業の振興と観光と地域資源が連携した魅力を創出する活性化を推進します。

①魅力ある地域生活拠点等の育成

○河口出張所、大石出張所、足和田出張所周辺の施設の集約化・生活サービス機能の充実等による魅力ある地域生活拠点の育成

○暮らしに密着した身近な商業施設や生活利便施設の立地促進

②魅力ある地域資源・レクリエーション資源を活用した活性化の推進

■河口湖畔観光リゾートエリアの環境整備と魅力づくり

○大石･河口地区は文化･芸術施設の集積と地場産業を主体とした観光農業が連携した新興観光地として、長浜地区は民宿村の再生による奥河口湖の閑静な長期滞在型の観光による活性化の推進

○回遊性の高い湖畔観光リゾートエリアの形成（快適な歩行空間・自転車ルートの整備、レンタサイクルの活用、足湯広場・休憩スポットの整備、サインシステムの構築とサイン整備の推進など）

○豊かな自然環境と調和したまちなみ景観の誘導（主要な通りの電線類地中化、看板類の適正化など）

○新しい観光スタイルの工夫（健康増進施設型温泉利用、長期滞在・保養型、体験型（民宿と農業体験）など）

■地域資源の魅力向上による活性化の推進と地域らしさの育成

○湖水など豊かな自然環境や富士山・御坂山系の眺望、歴史文化を活用した観光まちづくりの推進

○主要な観光施設の機能充実と魅力の向上（河口湖美術館、河口湖自然生活館、河口湖円形ホール、大石紬伝統工芸館など）

○梨川もみじ公園、奥河口湖さくらの里公園、湧水活用の親水公園などのレクリエーション施設や大石観光交流センターなど新たな観光交流施設の整備推進

○身近な潜在的資源活用の観光活性化の促進（里山や眺望景観、身近な名所・風景、体験と交流のツーリズムの創出（エコツーリズム、グリーンツーリズム、アグリツーリズム）など）

○観光まちづくりイベントや PR の充実（まち歩きなど観光とまちづくりを融合したイベントの実施など）

■観光ルート・観光基盤の整備

○観光交流の骨格となる国道 137 号、県道富士河口湖芦川線、（主）河口湖精進線等の機能強化、河口バイパス・（仮称）新倉トンネル等の主要な観光道路の整備促進

○寺川遊歩道、奥川遊歩道や湖畔周遊ウォーキングトレイル、シニックトレイル・並木道、ハイキングルート、旧鎌倉街道・若彦路等の古道など散策路・観光ルートの整備・充実

○観光バス路線や観光基盤の整備・充実（観光案内所、案内標識、駐車場、トイレ、休憩スポットなど）

③農業と地域を元気にする活性化の推進

■農業振興による活性化の推進

○農業生産基盤の充実と農業の振興・活性化の推進（耕作放棄地の有効活用、遊休農地活用のクラインガルテン、大石ワイナリー、野菜・花卉など高付加価値の特産品開発と販売力の強化、大豆や果実の加工品開発、地産地消・食育の推進、JA 北富士河口湖物産館、農の駅や農産物直売所の充実、中山間地域における鳥獣害対策の推進等）

○観光農業の育成・強化（都市と農山村地域の交流促進、市民農園、観光農園の整備・充実、都市農村交流施設の整備、農業と異業種交流の促進、朝市・夜市の継続など）

■地場産業の振興、産業基盤の整備と企業誘致の促進

○大石紬などの伝統産業、内水面漁業の振興、間伐材の有効活用による林業振興など観光との連携等による地場産業の振興

○産業基盤の整備と交通アクセス利便性や良好な環境を活用した企業誘致の促進（バイオマス等の環境関連産業、農産物関連の加工・販売・物流施設など）

３）広域交流・地域間アクセスを支える幹線道路整備と安全で快適なみちづくりを進めます。

①地域の骨格を形成する幹線道路網の機能強化

○（仮称）新倉トンネルの整備促進、河口バイパス開通に伴う国道 137 号の町道移管区間の生活道路化の推進（歩道の改善・整備、魅力づくりなど）
○広域都市間の連携強化と大規模災害に対応した甲府富士北麓連絡道路の整備促進
○周辺市町村・中山間地域を連絡する県道富士河口湖芦川線アクセスルート整備など機能強化の促進
○観光道路機能を担い地域間を連絡する（主）河口湖精進線の機能強化（歩道設置など）、長浜地区の連携強化に向けたバイパス整備の検討
○その他集落地内の町道など主要生活道路、農道、林道等の計画的な改善・整備

②公共交通の利便性の向上

○バス路線網の充実（町内循環バス運行コースやダイヤ編成等の強化、巡回シャトルバスの機能強化（レトロバスの路線延長、福祉バスの効率的な活用検討、コミュニティバスの検討など））
○中山間地域の公共交通の利用促進と利便性を高めるデマンドバスシステムの導入検討

③安心・快適な交通環境の形成

○安全・快適な歩行者のみちづくりの推進（歩道の改善・整備、通学ルートなど歩行者優先道路の整備、湖畔周遊散策ルートなど系統的な遊歩道整備、自転車道整備と自転車活用のエコ交通システムづくり）
○交通安全対策の充実（国道 137 号、（主）河口湖精進線などの交通安全対策の強化、危険性の高い交差点の改善、通学路の交通安全対策の充実（スクールゾーン設置、車の走行速度抑制等）、地域実情に即した交通規制の検討など）

４）景観と環境を守る土地利用を進めます。

①優良農地の計画的な維持・保全

○優良農地の計画的な維持・保全、農業基盤整備の推進
○無秩序な宅地化の防止と適切な土地利用誘導
○農業継続支援の充実と農業担い手の育成支援（遊休農地・耕作放棄地の有効利用の促進、営農希望者への農地斡旋、市民農園、観光農園、景観緑地への有効活用など）

・大石地区の優良農地

②里山の保全と良好な集落環境の形成

○自然環境の保全と適正な土地利用コントロールの推進（湖水・森林の維持・管理、森づくりの推進、森林資源のレクリエーション活用など）
○農業農村総合整備事業等の推進
○集落環境の改善・向上、低未利用地の計画的な整備促進
○宅地化が進む河口地区など地域特性に配慮した一定のルールに基づく適切な土地利用の誘導
○若彦トンネル開通に伴う県道富士河口湖芦川線の周辺環境と調和した沿道土地利用コントロールの推進

③定住促進と地域に住み続ける仕組みづくり

○中山間地域の過疎対策、定住促進策の推進（道路や公園等の生活基盤整備、新たな公営住宅等の定住促進住宅の検討、耕作放棄地・空き家の有効活用、子育て世代・団塊世代の移住促進など）
○地域特性を活かした居住地整備の推進（菜園付き住宅地、環境共生住宅、プラスワン住宅など）

５）美しい景観や環境と共生する安全・安心に暮らせるまちづくりを進めます。

①自然環境に配慮した身近な生活基盤の整備・充実

○集落地の身近な生活道路の改善・整備、交通安全対策の推進
○集落地で不足する身近な公園・広場の整備・充実
○自然環境に配慮した施設整備、出張所等の既存公共施設の機能充実と有効活用
○上水道の整備推進、公共下水道の整備と水洗化の普及促進、合併処理浄化槽の普及促進
○道路などの地域住民との協働による除雪・凍結対策の促進
○マナー徹底など山と湖のごみ不法投棄の防止、住民・企業・NPO・行政協働によるごみ対策の取組み強化
○地域間情報格差是正に向けた地域情報通信基盤の整備促進

・町道移管に伴い生活道路化が検討されている国道 137 号

②災害に強い安心・安全なまちづくりの推進

○河口湖や河川の治水安全対策、がけ崩れ等の安全対策の強化
○中山間地域の立地特性に応じた自然災害未然防止に向けた治山対策の促進
○地震や水害など、災害に強いまちづくりの推進
・各出張所等の防災拠点機能の強化、身近な防災活動拠点の整備、指定避難所の防災機能の充実、公共公益施設の耐震化・不燃化促進など
・防災施設の充実・強化（ライフラインの安全性の確保、耐震性防火水槽・消防水利の整備推進、防災倉庫・備蓄倉庫の充実、情報連絡体制の強化、災害弱者へ対応した緊急通報装置の普及推進など）

・河口湖と御坂山地

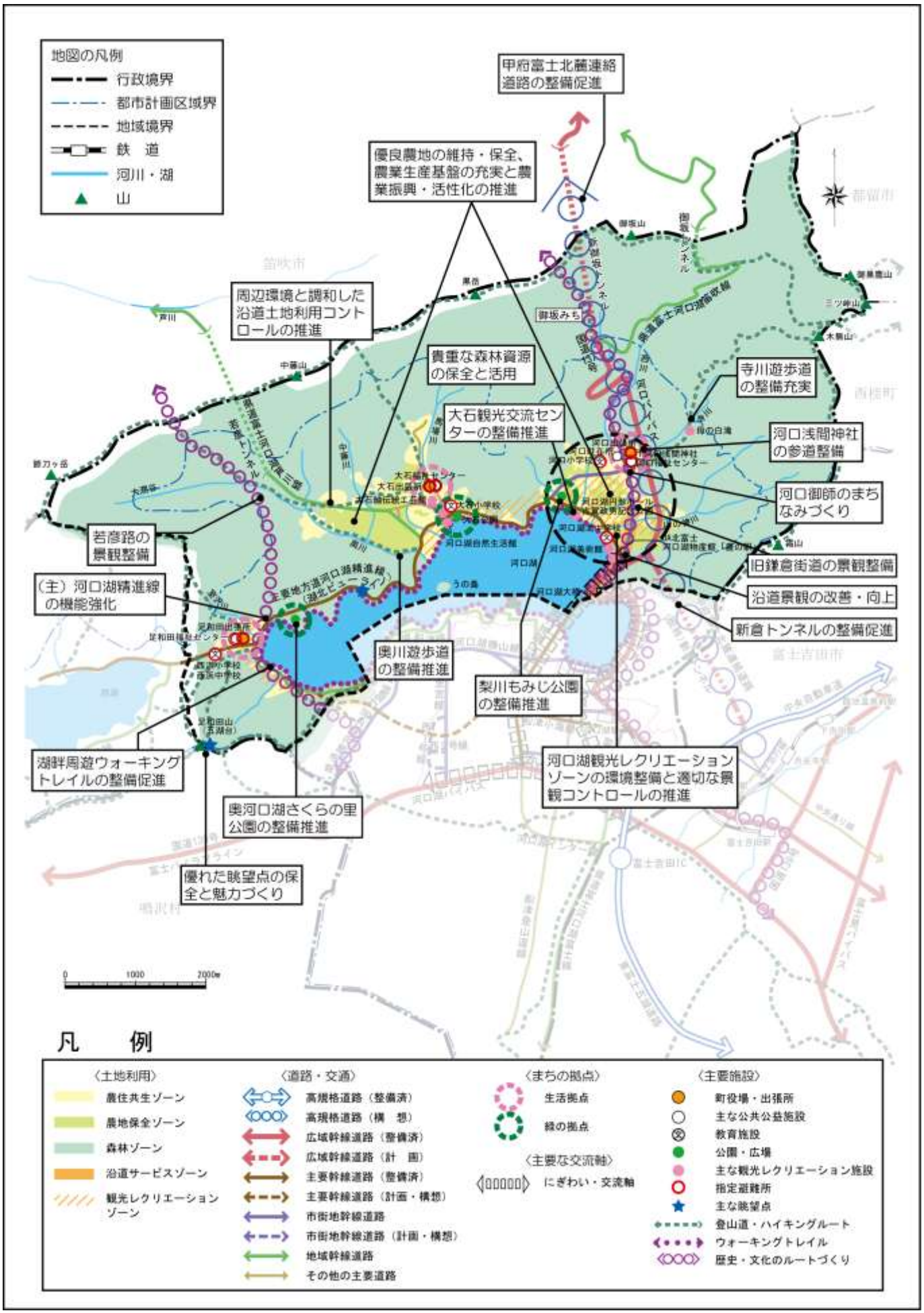
・集落地の防災安全性の向上（狭あい道路の改善、消防活動困難地域の解消、避難ルートの確保、老朽住宅の建替え、建物の不燃化・耐震化の促進など）
・国道 137 号、（主）河口湖精進線、県道青木ヶ原船津線など緊急輸送道路の機能強化
・中山間地域の災害時孤立対策の強化（迂回路の検討、防災情報システムの充実強化など）
○地域防災体制の強化（自主防災組織の育成強化、防災意識の普及・啓発、地域防災マップの作成など）

③誰もが安心して暮らせる人にやさしいまちづくりの推進

■公共交通機関や公共施設のバリアフリーの推進
○主要な道路・歩行空間のバリアフリー化、バス利便性の向上
○河口湖円形ホール、福祉センター等の文化行政施設、公園・緑地など公共施設等のバリアフリー化の推進
○河口地区の湖畔観光施設集積地などの重点的なバリアフリー整備の推進

■人にやさしい福祉のまちづくりの推進
○高齢者福祉施設、福祉サービスの充実など高齢者・障害者に配慮したまちづくりの推進
○子育て環境・子育て支援の充実（保育所、児童館、学校施設の充実など）
○地域全体が子ども達の育成に関わる地域と学校の絆を育むまちづくり
○大石地区健康センターの整備推進、診療所の設置など関係医療機関と連携した地域医療の充実
○地域防犯まちづくりの推進（通学路の街路灯・防犯灯の設置促進、地域防犯パトロール活動の促進等）
○地域のあたたかさと絆を大切にするまちづくりの推進（まとまりある地域コミュニティや世代間交流の継承など）

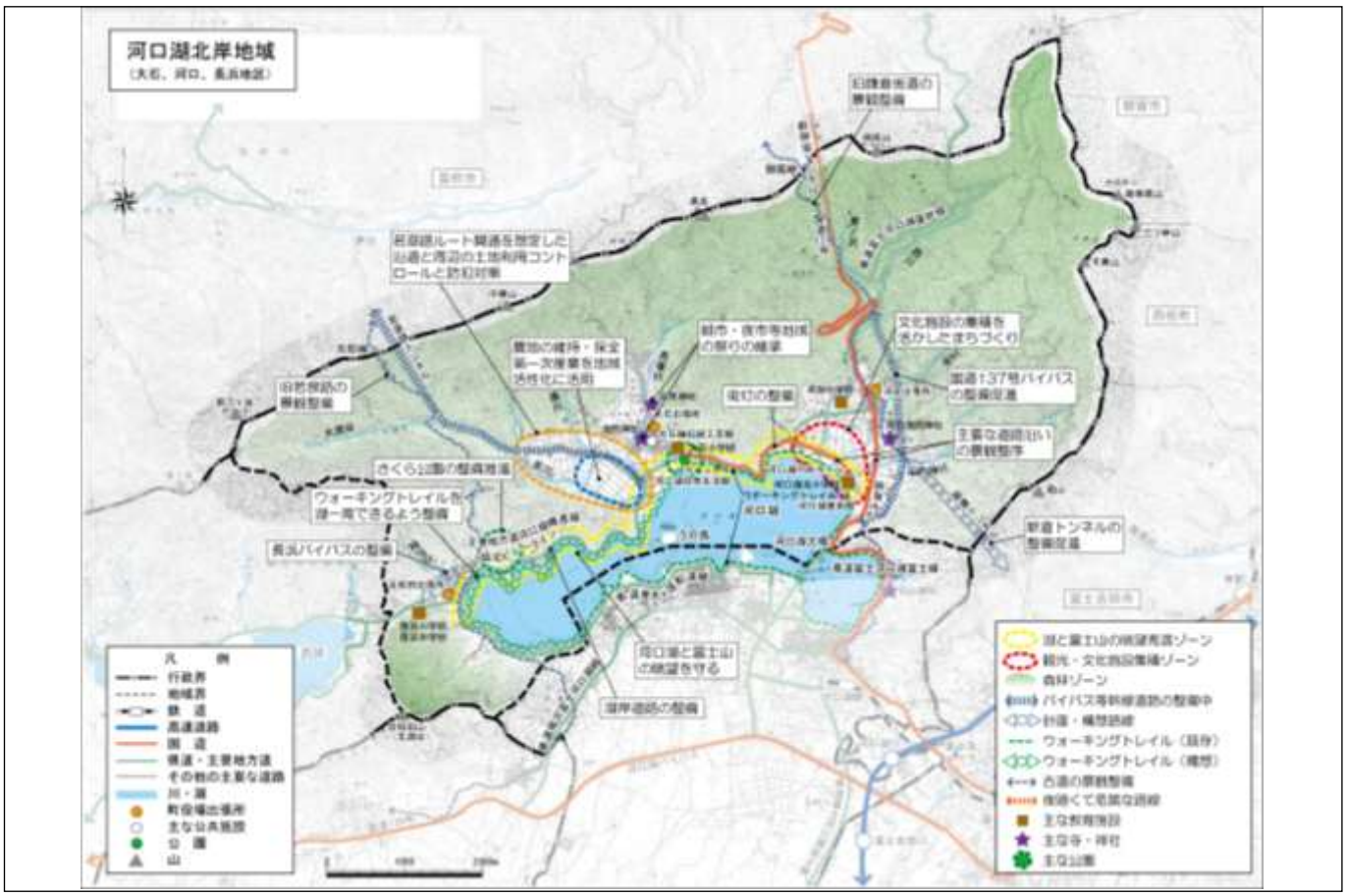
■河口湖北岸地域まちづくり方針図



〈参考〉地域まちづくり住民プランの提案　ーまちづくり住民会議提案よりー

■まちづくりフィッシュボーン

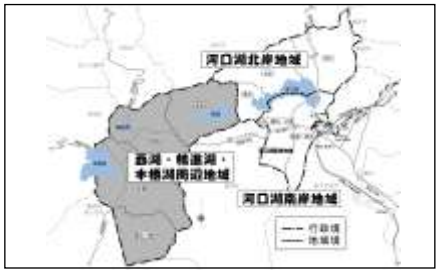
■地域情報・提案マップ



3　西湖・精進湖・本栖湖周辺地域まちづくり方針

●位　置

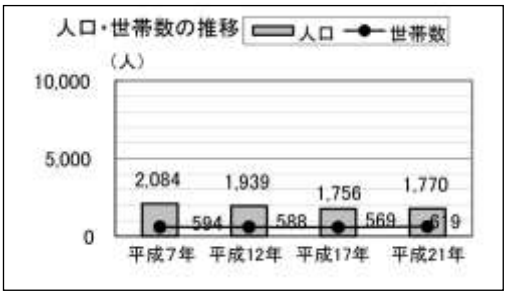
○西湖・精進湖・本栖湖周辺地域は、本町の西側に位置し、北側は笛吹市、甲府市、東側は鳴沢村、西側は身延町、北側は静岡県富士宮市に隣接しています。
○富士五湖のうちの３湖があり、青木ヶ原樹海など日本が誇る自然環境を擁する地域であり、富士ヶ嶺地区は富士の裾野に開けた緩やかな傾斜をもつ高原地域であり、その他は森林に囲まれた湖や道路周辺に集落地が点在しています。



（1）地域の特性と課題

■地域の特性

○本地域の人口・世帯数は平成 21 年８月現在 1,770 人 619 世帯で、人口は本町の約７％であり、人口・世帯数とも減少傾向にありましたが、近年微増傾向に転じています。高齢者率は平成 20 年度 29.0%と３地域の中で最も高く、少子高齢化の進行から集落の維持が懸念されています。
○根場・西湖の２つの地区からなる西湖地区は、武田の時代から西海衆と呼ばれ木炭農業を生業としてきましたが、昭和 41 年の台風 26 号による甚大な被害から県有林内の開拓移住地に集落を再生しました。精進、本栖は中道往還の街道筋の宿場町として古くから交通や国防の要衝であり、開拓団の入植により形成された富士ヶ嶺地区を含め、平成 18 年、旧上九一色村から全国で唯一の分村合併を経て富士河口湖町となった地域で、特色ある経緯を経た地域です。
○西湖地区は、湖上スポーツやエコツアーなどの民宿村を中心とした集落地ですが、災害前の旧集落内に空き家・空き地が点在し対応が必要となっています。精進・本栖地区は、歴史や自然資源に恵まれた閑静な観光地であり、富士ヶ嶺地区は県下最大の畜産地帯として酪農業と連携した地域交流を進めていますが、人口減少、高齢化への対応、地域活性化に向けた取り組みが望まれています。
○国道 139 号、国道 358 号、（主）河口湖精進湖線等が地域の骨格を形成していますが、集落内生活道路や地域間アクセスの向上、バスなどの公共交通の利便性に向けた改善が望まれています。
○精進出張所、上九一色出張所が生活拠点を形成し、西湖いやしの里根場、パノラマ台、本栖湖観光案内所、西湖野鳥の森公園などの観光施設や公共施設が分布しています。
○美しい湖水景観、青木ヶ原樹海等の貴重な自然環境、富士の裾野に開けた高原牧草地、御坂山系や富士山の良好な眺望、茅葺民家集落の歴史文化など、多面的な潜在資源をもつ景勝地を形成しています。



（資料：国勢調査、平成 21 年度は8月現在住民基本台帳）

■主な地域住民意向ーまちづくり住民会議
- 山林の保全・平地の有効活用、空き家対策
- 県有地（借地）への対応、融資の問題
- 国道改良、交通渋滞解消、冬季の凍結対策
- 本栖湖湖畔道路の通年利用
- バス等の公共交通の充実
- 信号機、街灯の整備
- 地場産業の活性化、就労の場の確保
- 身近な店舗誘致
- 旧街道づくりと活性化推進
- 湖畔道路・遊歩道整備、林道の活用
- 貴重な自然の保全と活用、観光との調整
- 眺望の保全と活用
- 景観スポット整備とネットワークづくり
- 不法投棄対策、水源の保全、湖水水質浄化
- 公園の整備、下水道加入率の促進
- 情報通信基盤整備促進と CATV の活用
- 地域防災訓練の充実と地域組織づくり
- 高齢者福祉の充実、子育て支援　など

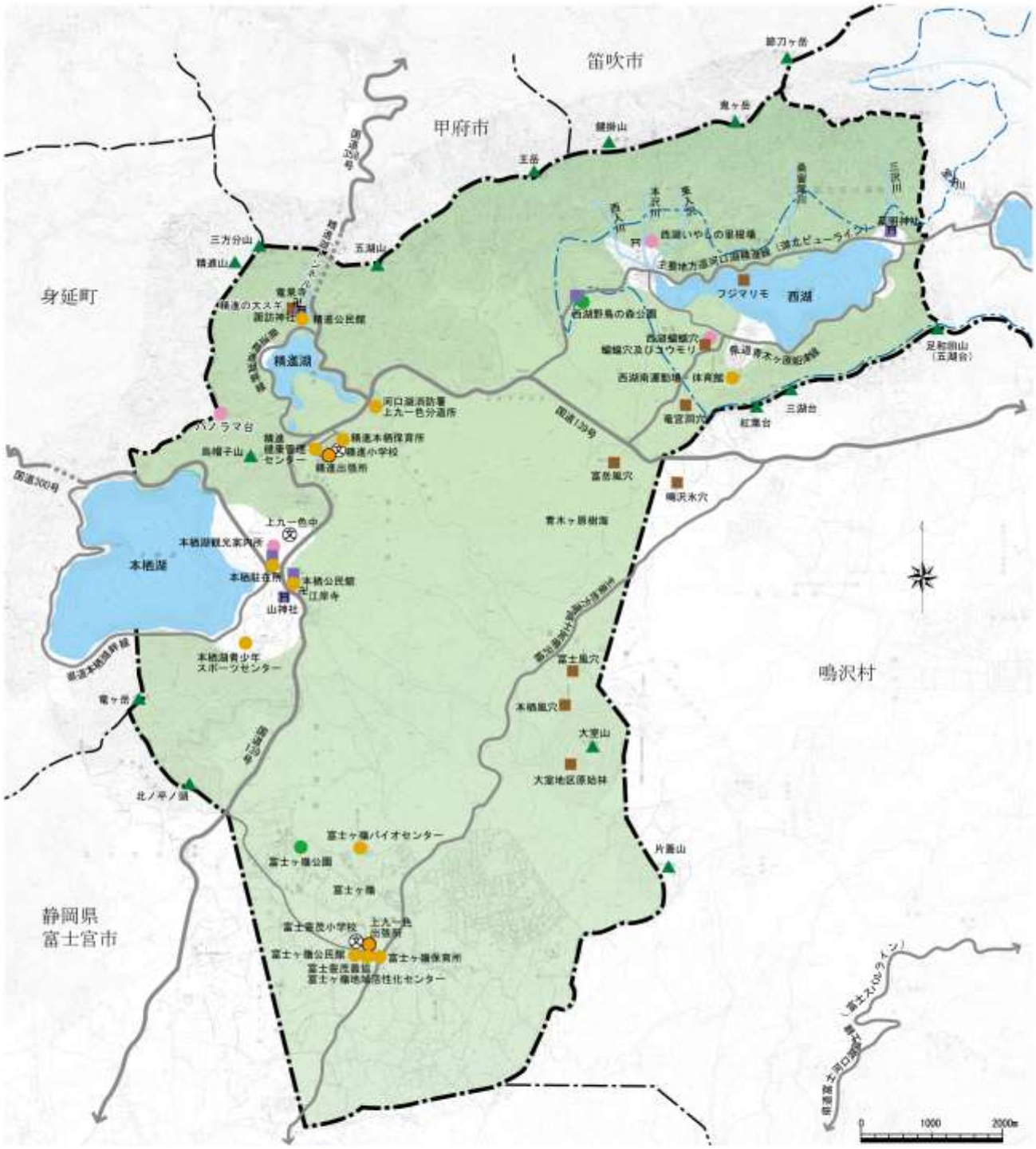
■主要なまちづくりの課題

●３つの湖や樹海、氷穴や風穴、雄大な眺望など、貴重な富士の恵みの自然環境と景観、文化資源を損なうことのないよう大切に守ることが重要です。
●湖や森林資源、高原牧草地など多様な地域資源を活用し、地場産業の振興や観光基盤整備、レクリエーションの振興など、豊かな環境を活かし定住と交流を促す、地域活性化の取り組みを進めることが必要です。
●広域交通や地域間交通の連絡強化、生活道路の改善を図るとともに、公共交通の充実など、交通環境の改善と利便性の向上を図ることが必要です。
●山や湖の保全と集落環境の維持・向上、地域に住み続ける仕組みづくり、農地や豊かな環境を維持する計画的な土地利用を進めることが必要です。
●身近な生活環境の利便性や防災機能の向上、少子高齢化への対応をはじめ、誰もが安心に暮らし続ける住環境づくりを進めることが必要です。
●地域の豊かな暮らしのために、３つの湖の連携を強化し、定住と交流を高め、コミュニティやつながりを維持し継承していくことが大切です。

・西湖いやしの里根場

・富士ヶ嶺放牧場

■西湖・精進湖・本栖湖周辺地域の現況特性



凡　例

- 町役場出張所
- 公共公益施設
- 教育施設
- 公　園
- 指定文化財
- 天然記念物
- 社　寺
- 主な観光レクリエーション施設
- 行政界
- 都市計画区域界
- 地域界
- 国　道
- 県道・主要地方道
- 主要な一般道
- 河川・湖
- 主な山地

（2）西湖・精進湖・本栖湖周辺地域の将来像

■将来像と基本理念

将来像

自然遺産・文化遺産を次代に継承し
豊かな心で安心に暮らすまち

基本理念

昔「三湖」は結ばれていた・・今は絆を深める一つのまちづくり

西湖・精進・本栖・富士ヶ嶺の地区は、３つの湖と富士の裾野の緑豊かな高原のイメージの強い地域です。地区それぞれは異なった表情をみせていますが、３つの湖はかつては１つの湖として現在も地下水脈でつながっているといわれ、富士裾野の雄大な自然環境など山の恵み・水の恵みを享受する一方、自然や災害等の厳しさに向き合い、手を携え大地を拓き「営みの絆」を育んできた歴史を共有しています。近年、少子高齢化の進行などから集落の維持・存続が懸念されています。地域の宝である自然や文化などの大切な遺産を次代に継承するとともに、この地域の連携をさらに深め、多くの人々との交流を育み、真に豊かな心で元気に暮らし続けることのできるまちづくりを進めていきます。

■まちづくりの目標

■地域の文化である豊かな自然と環境を守るまちづくり
■住み続ける心楽しい地域が元気になるまちづくり
■人のつながりを大切にし笑顔で暮らしやすいまちづくり

■まちづくりの基本方針

１）恵まれた自然環境を誇り、地域景観を守り・活かすまちづくりを進めます。

山と水の恵みを享受するとともに、大地の記憶から派生する富士山麓の豊かな自然遺産、古道である中道往還や伝統行事等の文化遺産、地域の原風景を再生した根場の茅葺き集落、世界に誇る眺望景観などを地域の誇り・風格として共有し、このかけがえのない財産を次代へ継承し、美しい自然環境と地域景観を守り・活かすまちづくりを進めます。

２）住む人が楽しく誰もが訪れ・住みたくなる、地域が元気になるまちづくりを進めます。

湖や森林のレクリエーション活用、里山農村交流、豊かな環境に癒される保養型の観光、これらを支える人材育成を進めるとともに、観光と連携した交流型産業や地場産業の育成、定住促進など、地域の魅力に多くの人が訪れ交流を育み、住んでみたいと思えるような、地域が元気になるまちづくりを進めます。

３）周辺地域との連絡を強化し、安心で利便性の高い交通環境づくりを進めます。

国道139号、358号や（主）河口湖精進線等の地域の骨格を形成する幹線道路の機能強化や、地域・集落間を連絡する交通ネットワークの強化を図るとともに、バスなどの公共交通利便性の向上、生活道路や安全な歩行者のみちづくりなどを推進し、安心で利便性の高い交通環境づくりを進めます。

４）山と森と湖の豊かな環境を維持し地域に住み続ける土地利用の推進を図ります。

森林・湖水や農地の保全を図るとともに、移住や開拓などで築き上げてきた集落環境の維持・向上、地域特性に応じた良好な住環境の形成と環境と共生する適正な土地利用誘導、中山間地域の過疎対策などを促進し、豊かな環境を維持し環境と共生した、地域に住み続ける土地利用の推進を図ります。

５）あるものを活かし、地域のチカラで安心して豊かに暮らす住環境づくりを進めます。

既存公共施設の有効活用や安全な生活道路、身近な公園、冬季の凍結対策や集落を結ぶ情報基盤整備など生活基盤整備を進めるとともに、中山間地域の防災機能の向上や少子高齢化に対応した福祉施策に取り組み、自助共助の地域のチカラと連携をもって、安心・豊かに暮らす住環境づくりを進めます。

（３）地域まちづくり方針

１）恵まれた自然環境を誇り、地域景観を守り・活かすまちづくりを進めます。

①緑・水・空気の恵まれた環境を誇るまちづくり

○富士の裾野や御坂山系の森林、青木ヶ原樹海、里山の森林など貴重な森林資源の保全と活用（森林セラピーロード事業、西湖コウモリ穴、洞穴・風穴、野鳥の森など環境教育・体験の場の充実、低山登山の推進、トレキッングコース、ハイキングコース等の整備推進）
○山と暮らし山を元気にする環境づくりの促進（林業振興、治山・治水の促進、協働による水源涵養林の維持・管理の促進など）
○豊かな水辺環境の維持・保全（水源の保全、湖の水質浄化と透明度の保全、湧水の保全、ビオトープ空間の創出などの親水空間づくり）
○貴重な動植物の生息環境の維持・保全（高山植物、ヒメマス・ニジマス等の生息確保など）
○富士山麓の自然・環境に配慮した環境負荷の軽減、循環型社会に向けた取り組みなど、環境にやさしいまちづくりの推進

・御坂山系の山並み

・本栖湖

②良好な資源を地域が知り・守り・活かす景観づくり

■貴重な景観資源の保全と活用
○山岳・森林景観や湖・水辺景観、里山農村景観、高原牧草地景観などの保全と活用
○西湖・精進湖・本栖湖の湖畔レクリエーションゾーンの景観保全と３つの湖の個性を活かした魅力づくり
○ダイヤモンド富士・逆さ富士等の眺望、３つの湖の眺望、紅葉台、三湖台～五湖台、竜ヶ岳、パノラマ台、東海道自然遊歩道、富士ヶ嶺高原など優れた眺望景観の保全、景観スポット整備とネットワークづくり

■地域の個性ある歴史文化資源の継承と活用
○本栖城跡・石塁、精進の大杉などの歴史文化遺産の保全や、地域の伝統的集落地のまちなみの再生
○西湖いやしの里根場の事業推進
○潜在的な歴史文化資源の顕在化とまちづくりへの活用（古民家、社寺、塚・祠・道祖神など）
○地域の伝統行事の継承と支援の充実（本栖公家行列など）
○石塁木道の整備、中道往還などの古道の景観整備、歴史の小径・ルートづくり

・女坂峠（中道往還）にたつ石造群

■景観や環境に配慮したまちづくりの推進
○国道 139 号などの道路や散策路等の緑化推進と沿道景観の改善・向上による景観ネットワーク軸の形成
○地域住民による潜在資源の再確認と景観まちづくりへの取り組みの推進（地域を知る取り組みの推進、ネイチャーガイドの育成、樹海のイメージアップ、地域巡回パトロールの充実・強化など）

③四季折々の彩りを創出するまちづくり

○水と緑の拠点整備と機能充実（野鳥の森公園等の水と緑の拠点、親水公園整備の推進、上九一色地区等の集落地に不足する公園・広場等の整備促進）
○身近な緑の保全と湖畔の花植え活動など緑のまちづくりの促進、支援の充実

・野鳥の森公園の樹氷まつり

２）住む人が楽しく誰もが訪れ・住みたくなる、地域が元気になるまちづくりを進めます。

①特色ある地域資源、３つの湖と高原が連携した観光活性化の推進

■観光リゾートエリアの環境整備と魅力づくり

○西湖・精進・本栖地区はスポーツ等の親水型リゾートと樹海等の森林レクリエーションを主体とした保養型観光、富士ヶ嶺地区は酪農や高原地域の特性と産業が連携した交流型観光による活性化の推進

○３つの湖が連携した回遊性の高い湖畔観光リゾートエリアの形成（遊歩道など快適な歩行空間・自転車ルートの整備、レンタサイクルの活用、休憩スポット整備、観光案内所の PR 充実、統一した案内標識・マップづくり、３つの湖スタンプラリーの実施など）

○豊かな自然環境と調和したまちなみ景観の誘導（主要な通りの電線類地中化、看板類の適正化など）

■観光資源の機能充実と四季の美しさを活かす観光まちづくりの推進

○豊かな自然環境の保全と調和した観光まちづくりの推進（富士山の歴史文化や眺望景観、湖水資源、青木ヶ原樹海の原生林、西湖蝙蝠穴、富岳風穴、竜宮洞穴など溶岩洞穴の活用など）

○主要な観光施設の機能充実と魅力の向上（西湖いやしの里根場、西湖野鳥の森公園など）

○本栖湖（仮称）ふれあい交流センター・ふれあい広場の整備、上九一色地区の親水公園整備、樹海を見渡す展望台設置の検討など新たな観光レクリエーション施設の整備推進

○精進湖温泉を活用した健康施設や道の駅的な新たな観光交流施設の整備検討

○身近な潜在的資源活用の観光活性化の促進（エコツーリズム、ネイチャーガイドの活用とツアー拡充、精進湖周辺の樹海トレイル、本栖湖青少年スポーツセンターの活用、里山や眺望景観等の活用など）

■観光ルート・観光基盤の整備

○観光交流の骨格となる国道 139 号、358 号、300 号、（主）河口湖精進線等の機能強化

○散策路・観光ルートの整備充実（紅葉台・三湖台散策路、青木ヶ原樹海散策路、東海自然歩道、湖畔周遊ウォーキングトレイル、３湖を巡るシニックトレイル・並木道、ハイキングルート、中道往還歴史の道など）

○観光バス路線や観光基盤の整備・充実（観光案内所、案内標識、駐車場、トイレ、休憩スポットなど）

②定住と交流を促す活性化の推進と酪農や環境を活用した地場産業の振興

■定住と交流を促す環境づくりの推進

○定住を促す環境と調和した住環境づくりの促進（フォレストヴィレッジ、エコヴィレッジ、菜園付き住宅地、環境共生住宅、プラスワン住宅、２地域居住の促進、田舎暮らしの促進、子育て世代の定住促進、団塊世代の移住促進など）

○都市と農村の交流促進（エコツーリズム、グリーンツーリズム、山村留学、里山楽校の促進など）

■富士ヶ嶺地区の農畜産業の振興と活性化の推進

○富士ヶ嶺地区の農畜産業生産基盤の整備推進（新たな農産物試験栽培など富士ヶ嶺高冷地実験農場の活用、富士ヶ嶺バイオセンターによる資源リサイクルの推進）

○観光と酪農が連携した活性化の推進（まきばの恵ブランドなど地域ブランドの確立、富士ヶ嶺ファームフェスタ・酪農まつりの充実と交流広場の有効活用など）

■農業の振興・活性化の推進、地場産業の育成・強化

○農業生産基盤の充実と農業の振興・活性化の推進（耕作地放棄地の有効活用、山菜・キノコなど特産品開発と販売力の強化、富士ヶ嶺地域活性化センターや農産物直売所の活用、鳥獣害対策の推進など）

○観光農業の育成・強化（観光農園の整備・充実、都市農村交流施設の整備、農業と異業種交流の促進等）

○地場産業の振興（間伐材の有効活用等による林業振興、地産地消の推進、西湖・本栖湖のヒメマスなど内水面漁業の振興、ジビエ食肉加工施設におけるシカ肉を活用した新たな特産品の開発など）

■産業基盤の整備と就労の場の確保

○良好な自然環境を活用した産業基盤の整備、企業誘致の促進と就労の場の確保（研究開発施設、バイオマス等の環境関連産業、農産物関連の加工・販売物流施設など）

③魅力ある地域生活拠点等の育成

○精進出張所、上九一色出張所周辺の施設の集約化・生活サービス機能の充実等による魅力ある地域生活拠点の育成

○暮らしに密着した身近な商業施設や生活利便施設の立地促進

３）周辺地域との連絡を強化し、安心で利便性の高い交通環境づくりを進めます。

①地域の骨格を形成する幹線道路網の機能強化

○国道 139 号、358 号の機能強化（渋滞解消、主要交差点の改良、歩道整備等の改良促進）
○周辺市町村・地域間を連絡する（主）河口湖精進線、（主）富士宮鳴沢線の機能強化、西湖精進湖線、精進湖本栖湖線の整備促進
○観光道路機能を担い中山間地域を連絡する県道青木ヶ原船津線、精進湖畔線、本栖湖畔線（通年利用の検討）の機能強化
○その他集落地内の町道など主要生活道路、農道、林道等の計画的な改善・整備

・西湖と県道青木ヶ原船津線

②公共交通の利便性の向上

○バス路線網の充実（町内循環バス運行コースやダイヤ編成等の強化、巡回シャトルバスの機能強化（レトロバスの路線延長、福祉バスの効率的な活用検討、コミュニティバスの検討など））
○中山間地域の公共交通の利用促進と利便性を高めるデマンドバスシステムの導入検討

③安心・快適な暮らしのみちづくり

○安全・快適な歩行者のみちづくりの推進（歩道の改善・整備、通学ルートなど歩行者優先道路の整備、湖畔周遊散策ルートなど系統的な遊歩道整備、自転車道整備と自転車活用のエコ交通システムづくり）
○交通安全対策の充実（国道 139 号などの交通安全対策の強化、危険性の高い交差点の改善、通学路の交通安全対策の充実（スクールゾーン設置、車の走行速度抑制等）、地域実情に即した交通規制の検討など）

４）山と森と湖の豊かな環境を維持し地域に住み続ける土地利用の推進を図ります。

①山と湖の保全と集落環境の維持・向上

○湖水や青木ヶ原樹海、富士の裾野の森林など自然環境の保全と適正な土地利用コントロールの推進（湖水・森林の維持・管理、森づくりの推進、森林資源のレクリエーション活用など）
○集落環境の改善（道路や排水施設、公園等の生活基盤整備の推進）

・青木ヶ原樹海

②地域に住み続ける定住促進の仕組みづくり

○地域特性に応じた良好な住環境づくり（富士ヶ嶺地区における畑地帯総合整備事業の推進、県有地借地課題への対応検討、新たな公営住宅等の定住促進住宅の検討など）
○３つの湖と高原地域の地域特性と共生する適正な土地利用の誘導（観光保養地の機能強化と魅力の向上、環境と共生する計画的な宅地化の誘導、里山景観の維持・保全など）
○中山間地域の過疎対策の促進（空き家の斡旋等による移住促進、耕作放棄地の有効活用、低未利用地の計画的な整備促進、高齢者に配慮した住環境づくりなど）

③優良農地の計画的な維持・保全

○優良農地の計画的な維持・保全、農業基盤整備の推進
○県下最大の酪農地帯である富士ヶ嶺地区の営農環境や高原牧草地の維持・保全
○農業継続支援の充実と農業担い手の育成支援（遊休農地・耕作放棄地の有効利用の促進、営農希望者への農地斡旋、市民農園、観光農園、景観緑地への有効活用など）

・富士ヶ嶺の高原牧草地

５）あるものを活かし、地域のチカラで安心・豊かに暮らす住環境づくりを進めます。

①美しい環境と共生した身近な生活基盤の整備・充実

○集落地の身近な生活道路の改善・整備、交通安全対策の推進
○集落地で不足する防災公園等の整備、西湖南・西グランド等の身近な公園・広場の整備・充実
○西湖南体育館の整備、出張所や公民館等の既存公共施設の機能充実、本栖湖青少年スポーツセンターの町への移管促進と有効活用
○上水道の整備推進、環境保全に向けた公共下水道の整備と加入率の促進、合併処理浄化槽の普及促進
○道路など地域住民協働による除雪・凍結対策の促進
○青木ヶ原樹海、湖や森林、河川へのごみ不法投棄の防止、美しい環境を守るマナー徹底と意識向上
○地域間情報格差是正に向けた地域情報通信基盤の整備促進、CATV 活用の身近な地域情報入手の充実

②地域が連携した災害に強い安心・安全なまちづくりの推進

○３つの湖・河川の治水安全対策、がけ崩れ等の安全対策の強化
○中山間地域の立地特性に応じた自然災害未然防止に向けた治山対策の促進
○地震や水害など、災害に強いまちづくりの推進
・各出張所等の防災拠点機能の強化、身近な防災活動拠点の整備、指定避難所の防災機能の充実、公共公益施設の耐震化・不燃化促進など
・防災施設の充実・強化（ライフラインの安全性の確保、富士ヶ嶺地区など消防水利充足率の低い地域の耐震性防火水槽・消防水利の整備推進、防災倉庫・備蓄倉庫の充実、情報連絡体制の強化、災害弱者に対応した緊急通報装置の普及推進）
・集落地の防災安全性の向上（狭あい道路の改善、消防活動困難地域の解消、避難ルートの確保、老朽住宅の建替え、建物の不燃化・耐震化の促進など）

・昭和 41 年に土石流の大被害をもたらした王岳

・国道 139 号、358 号、300 号、（主）河口湖精進線など緊急輸送道路の機能強化
・中山間地域の災害時孤立対策の強化（迂回路やヘリポートの検討、防災情報システムの充実強化など）
○地域防災体制の強化（地域防災訓練の充実、高齢者等に対応した向こう三軒両隣の自主防災組織の育成強化、防災意識の普及・啓発、地域防災マップの作成など）

③地域で元気に暮らし続ける人にやさしいまちづくりの推進

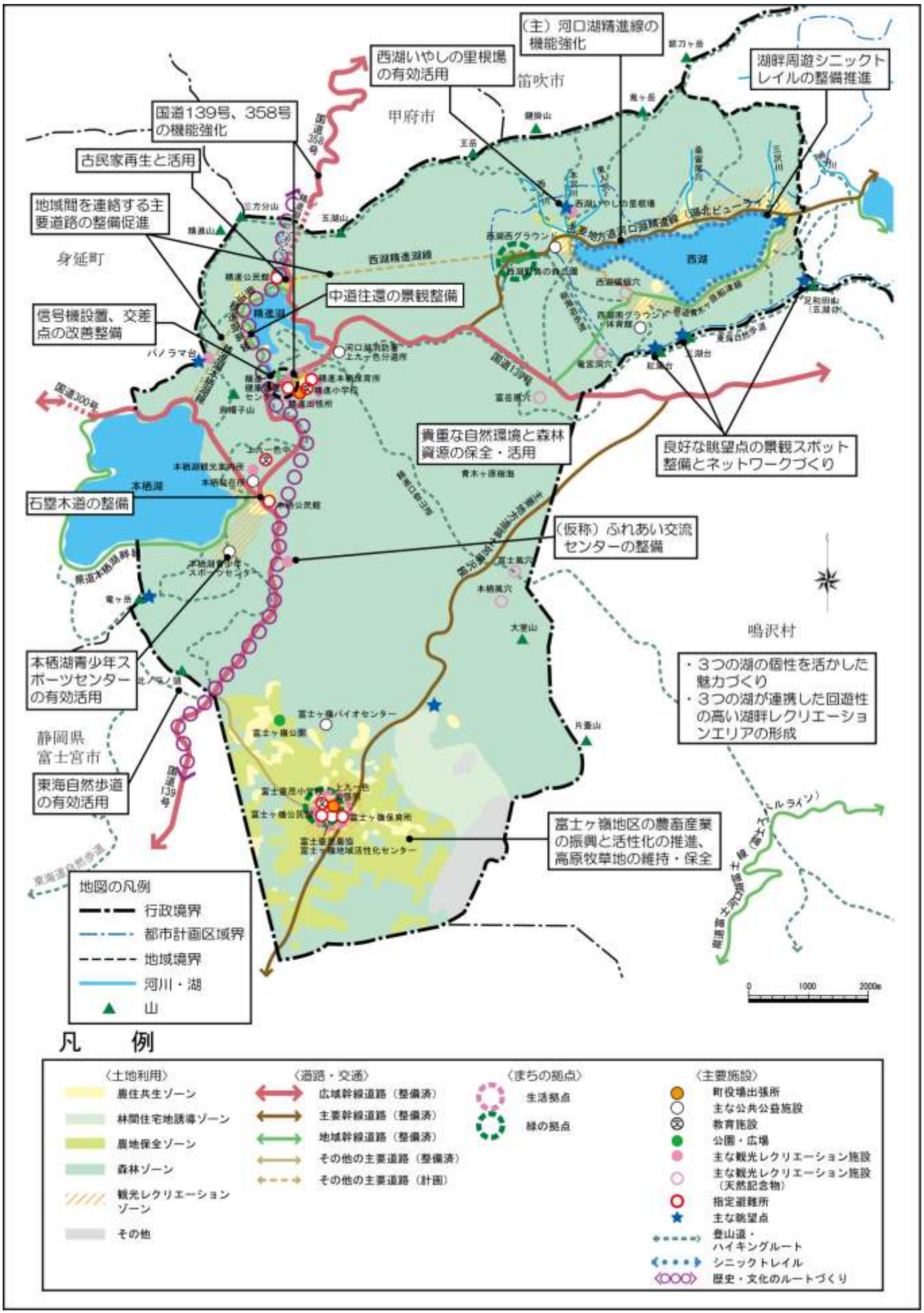
■公共交通機関や公共施設のバリアフリーの推進

○主要な道路・歩行空間のバリアフリー化、バス利便性の向上
○出張所、精進健康管理センター等の行政施設、公園・緑地など公共施設等のバリアフリー化の推進
○湖畔観光リゾートエリア周辺、西湖いやしの里根場など重点的なバリアフリー整備の推進

■地域で元気に暮らし続ける福祉のまちづくりの推進

○高齢者福祉施設、福祉サービスの充実など高齢者・障害者に配慮したまちづくりの推進
○学校交流や学童保育の実施など子育て環境・子育て支援の充実、スクールバスの運行、地域で子育ての仕組みづくり（食育の促進、子ども達への自然や暮らしの体験）など
○関係医療機関と連携した地域医療の充実
○地域防犯まちづくりの推進（街路灯・防犯灯の設置促進、地域防犯パトロール活動の促進、見守り交番の設置など）
○地域のつながりや交流を大切にしたまちづくり（３つの湖の情報共有と連携の強化、人を育て人を集める仕組みづくり、顔のみえる地域コミュニティの継続、多世代交流、地域の知恵袋の活用など）

■西湖・精進湖・本栖湖周辺地域まちづくり方針図



〈参考〉地域まちづくり住民プランの提案　ーまちづくり住民会議提案よりー

■まちづくりフィッシュボーン

■地域情報・提案マップ

・本栖湖と富士山